

ハーツユナイテッドグループと UBIC、共同研究によるサービス開発第1弾として、 AI による次世代ネット書き込み監視サービス「DH-AI」を開始

書き込みのニュアンスから潜在的なリスクの予兆も発見、自動化によりコストを大幅に低減

株式会社ハーツユナイテッドグループ(本社所在地:東京都港区、代表取締役社長 CEO:宮澤 栄一、東証第一部:証券コード3676、以下、「ハーツユナイテッドグループ」)及び株式会社UBIC(本社所在地:東京都港区、代表取締役社長:守本 正宏、東証マザーズ:証券コード2158、米ナスダック:UBIC、以下、「UBIC」)は、6月1日よりハーツユナイテッドグループのユーザーデバッグノウハウと、UBICが独自開発した人間の感覚や機微を理解する人工知能「KIBIT(キビット)」を活かした次世代ネット書き込み監視サービス「DH-AI」を開始することをお知らせいたします。

ハーツユナイテッドグループ及びUBICは、2015年10月より、デバッグに人工知能を活用する先進的な技術開発及びサービス開発を目的とした共同研究の取り組みを開始して以降、両社が持つ経験やノウハウ、技術を活かしたサービス化に取り組んでおり、人工知能を活用したバグへのアプローチの研究は着実に進歩を遂げるとともに、現在、成果を実用化に導く検証を実施しております。

また、デバッグのみならず、マーケティング分野やセキュリティ分野においても、人工知能の活用における親和性があることから、これらの分野におけるサービス化についても積極的に取り組み、この度、その一環として、ユーザーとビッグデータの関連性及び人工知能の活用に着目したネット監視分野において、早期のサービス化を実現いたしました。

昨今、多くの企業が、ユーザーとのコミュニケーションや自社製品・サービスの理解を浸透させるため、独自のコミュニティサイトやブログなどを運営する一方、悪意のある書き込みでコメント欄が荒れたり、製品・サービスへの誤解や誤情報が記載され、さらにはその情報が拡散することで企業イメージを毀損させるリスクが拡大しております。

このため、企業は対策として、インターネット上の情報監視に注力している一方、人力でのキーワード検索では多数の人材確保を要し、さらにはその能力が不均一であることから、指定したキーワード以外のリスク予見が困難となるなど、コストの増大及び作業の効率化が課題となっております。

ハーツユナイテッドグループは、ソフトウェアのバグをユーザー目線で検出・報告する「ユーザーデバッグサービス」を提供しており、そのデバッグサービスはユーザーの繊細且つ研ぎ澄まされた感覚値・予測値を踏まえた独自のデバッグノウハウを特徴としております。また、約8,000人の登録テスターは、特にデジタルネイティブ世代が多く在籍しており、インターネットを介したコミュニケーション能力が高く、さらに、デバッグに精通していることにより、ユーザーの行動パターンを意識した感覚・予見能力が洗練されているため、インターネット上の膨大な情報の正誤判断及び取捨選択に長けています。

UBICは、人工知能「KIBIT」を通じ、ECサイトに書き込まれたVOC(Voice of Customer、お客様の声)から、企業が商品改善や顧客満足度の向上に必要なコメントを抽出したり、ソーシャルメディア分析システム「Lit i View SNS MONITORING」において、犯罪への発展につながりそうな書き込みを検知する実証実験を行なう他、膨大なテキストデータから解析によって必要な情報を見つけ出す取り組みを数多く行っています。

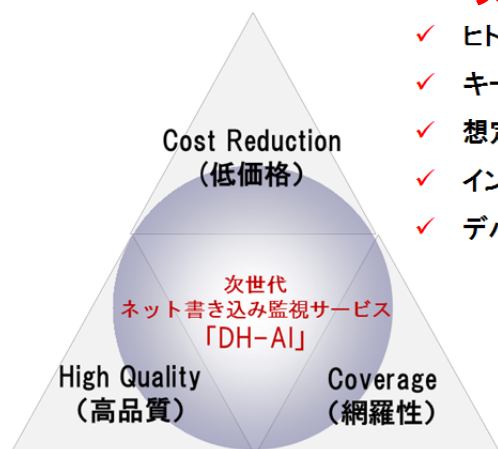
このたび、両社のノウハウを融合させ、自動化によりコストを低減しながら、書き込みのニュアンスを読み取り、キーワード検索だけでは実現できない高速・高精度のリスク検知を行う次世代ネット書き込み監視サービス「DH-AI」の提供を開始いたします。「DH-AI」は、ユーザー目線による正誤判断や取捨選択基準を「KIBIT」に学習させ、膨大な書き込みを分析することで、指定のキーワードに加え、リスクにつながる予兆のある書き込みを自動で抽出・優先度付けし、ヒトの4,000倍の処理能力により監視業務の効率化と作業コストの大幅な低減を実現いたします。

【サービスの特徴】

低価格・高品質・網羅性の3つの要素を兼ね備えた

次世代ネット書き込み監視サービス「DH-AI」

- ✓ ヒトの 4,000 倍の処理能力を持つ人工知能の導入により大幅なコスト低減
- ✓ キーワード検索では困難な微妙なニュアンスを含む書き込みを検出
- ✓ 想定外の危険な書き込みも人工知能により優先度をつけて自動で抽出
- ✓ インターネットに精通した 8,000 名のテストターの感覚値を活用し人工知能をカスタマイズ
- ✓ デバッグで培った予期せぬユーザー行動パターンの分析能力を監視サービスに応用



【サービスフロー】

ヒアリング



- 企業から書き込み・コメントのデータを取得
- 過去に問題点となった例・特有のキーワード・見つけ出したい文章の傾向などをヒアリング



カスタマイズ



- デジタルネイティブ世代の登録テストターよりプロジェクトに沿ったメンバーをアサイン、リサーチキーワード及びリスクにつながりそうな書き込みの抽出や想定を検証
- 全ての要素を教師データとして人工知能「KIBIT」に教え解析を実施



サービス提供



- 企業サイトに寄せられた大量の書き込みやコメントを危険性が高い順に自動的に仕分け
- 想定外の危険な書き込みも人工知能により優先度をつけて自動で抽出、報告



人工知能へ再学習



- 抽出された書き込みを人工知能に再び学習させ教師データをチューニング
- キーワード検索では抽出できない書き込みを検知することで見逃しリスクを回避

ハーツユナイテッドグループとUBICは、今後もさらに共同研究を行い、人工知能によるソフトウェアのデバッグのアプローチや、より安全で快適なデジタル社会を支える先進的なサイバーセキュリティ技術などのサービス開発を目指し、共に事業領域の拡大を図って参ります。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社ハーツユナイテッドグループ 経営企画グループ IR/広報担当 山岸

電話:03-6406-0081(月～金:9時半～18時半/土日祝:休日)

株式会社 UBIC 広報担当 池内

電話:03-5463-6380(月～金:9時半～18時半/土日祝:休日)

【株式会社ハーツユナイテッドグループ概要】

ハーツユナイテッドグループ HP :<http://www.heartsunitedgroup.co.jp/>
設 立 :2013 年 10 月 1 日
代 表 取 締 役 社 長 C E O :宮澤 栄一
本 社 所 在 地 :東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
グ ル ー プ 会 社 の 事 業 内 容 :デバッグ事業、メディア事業、クリエイティブ事業及びその他の事業

【株式会社UBIC概要】

株 式 会 社 U B I C H P :<http://www.ubic.co.jp/>
設 立 :2003 年 8 月 8 日
代 表 取 締 役 社 長 :守本 正宏
本 社 所 在 地 :東京都港区港南二丁目 12 番 23 号
グ ル ー プ 会 社 の 事 業 内 容 :ディスカバリ(国際訴訟対策)支援事業、デジタルフォレンジック調査事業、
医療データ解析、ビジネスインテリジェンス、マーケティングなど人工知能を
活用したデータ解析事業